



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <https://www.yellowhat.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-6866-0163
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 115,211 | 2.5 | 11,123 | 15.0 | 11,971 | 14.6 | 8,111 | 13.8 |
| 2020年3月期第3四半期 | 112,361 | 2.8 | 9,669 | 19.8 | 10,447 | 15.3 | 7,130 | 15.7 |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 8,369百万円(16.3%) 2020年3月期第3四半期 7,195百万円(20.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 175.86 | 175.13 |
| 2020年3月期第3四半期 | 154.65 | 154.07 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 117,091 | 90,441 | 77.1 | 1,956.37 |
| 2020年3月期 | 109,560 | 84,420 | 76.9 | 1,827.10 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 90,250百万円 2020年3月期 84,256百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 20.00 | — | 26.00 | 46.00 |
| 2021年3月期 | — | 26.00 | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 28.00 | 54.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年5月8日の決算短信で公表した期末の配当予想を修正しております。詳細は、2021年1月28日公表の「業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 144,500 | 2.5 | 12,000 | 18.9 | 13,000 | 17.2 | 8,400 | 14.5 | 182.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年5月8日の決算短信で公表した通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、2021年1月28日公表の「業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期3Q | 49,923,146株 | 2020年3月期 | 49,923,146株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 3,791,597株 | 2020年3月期 | 3,808,477株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期3Q | 46,124,036株 | 2020年3月期3Q | 46,109,760株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費において回復の動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、このコロナ禍において、来店客数の減少及びタイヤやカーナビゲーション等の高単価商品が販売不振となりましたが、緊急事態宣言が解除された6月以降、徐々に客数も回復し、高単価商品の販売も復調傾向にあります。また、日本海側を中心とした寒波の影響により冬季用品の需要が高まり、冬用タイヤやタイヤチェーン販売が大きく伸びました。

このような環境下におきまして、当社グループでは、クルマは生活をする上で重要なインフラであることから、店舗の営業時間の短縮等を行いながら、整備作業及びカー用品の提供を継続してまいりました。なお、店舗におきましては、レジでの飛沫拡散防止のためのビニールシートの設置、店舗設備の消毒の強化、従業員のマスク着用や体調管理、出入口のドアや窓の開放による換気の励行など、お客様及び従業員の安全と健康を最優先に取り組んでおります。

また、当連結会計年度の新たな取り組みとして、車検整備工場の子会社化や最新鋭の洗車機を導入したコイン洗車場をオープンさせるなど、車検・サービス事業の拡充を図っています。加えて、イエローハットホームページのリニューアルやイエローハットオンラインショップの開設など、お客様の利便性向上にも努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりで、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも過去最高を更新いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少を見込んでいたものの、感染対策としてクルマ、バイクでの移動需要が高まったことから、当初予想より前倒しで当社グループ事業に対する需要が回復いたしました。また、寒波による降雪の影響で冬用タイヤやタイヤチェーン等の販売数が前年より増加したことにより、売上高は1,152億11百万円（前年同期比102.5%、28億49百万円増）、売上総利益は459億89百万円（前年同期比103.8%、16億80百万円増）となりました。

販売費及び一般管理費は、緊急事態宣言期間中の広告宣伝活動を抑制したものの、子会社店舗の増加に伴う人件費や賃借料等が増加したこともあり、348億66百万円（前年同期比100.7%、2億26百万円増）となりました。

その結果、営業利益は111億23百万円（前年同期比115.0%、14億53百万円増）、経常利益は119億71百万円（前年同期比114.6%、15億24百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては81億11百万円（前年同期比113.8%、9億80百万円増）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は393億69百万円（前年同期比97.0%、12億5百万円減）、小売部門は682億99百万円（前年同期比105.5%、35億79百万円増）となりました。

②当期のセグメント別概況

当第3四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

＜カー用品・二輪用品等販売事業＞

当第3四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

国内では、2020年4月にトレッド春日井店（愛知県）、6月に鳥取駅南店（鳥取県）、厚木岡田店（神奈川県）、7月にトレッド白河インター店（福島県）、飯能双柳店（埼玉県）、9月に新 港区甚兵衛通店（愛知県）、富山飯野店（富山県）、都筑川和町店（神奈川県）、羊ヶ丘通西岡店（北海道）、10月に秋田新国道店（秋田県）、水口城南店（滋賀県）、八王子由木店（東京都）、トレッド東大宮店（埼玉県）の計13店舗を開店、2020年4月にトレッド春日井八田店（愛知県）、トレッド湘南平塚店（神奈川県）、5月にトレッド千葉鎌ヶ谷店（千葉県）、6月に宝塚安倉店（兵庫県）、松山11号バイパス店（愛媛県）、7月にトレッド三重河芸店（三重県）、8月に荏田店（神奈川県）、港区甚兵衛通店（愛知県）、富山豊田店（富山県）、石狩街道太平店（北海道）、9月にOSC湘南シティ店（神奈川県）の計11店舗を閉店いたしました。

海外では、2020年12月に中和店（台湾）を閉店いたしました。

イエローハット店舗以外では、2020年7月にバイク館SOX宝塚店（兵庫県）、9月に松山2りんかん（愛媛県）、バイク館SOX名古屋みなと店（愛知県）、10月にバイク館SOX松山店（愛媛県）、11月に高松2りんかん（香川県）の計5店舗を開店、6月にバイク館SOXさいたま中央店（埼玉県）を閉店いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、国内がイエローハット740店舗、2りんかん58店舗、バイク館SOX54店舗、海外がイエローハット2店舗の合計854店舗、イエローハット車検センターが7拠点となりました。

当第3四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、1,104億12百万円（前年同期比102.5%、27億42百万円増）、セグメント利益につきましては、101億28百万円（前年同期比115.1%、13億31百万円増）となりました。

<賃貸不動産事業>

当第3四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、47億98百万円（前年同期比102.3%、1億6百万円増）、セグメント利益につきましては、9億94百万円（前年同期比114.1%、1億22百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、506億8百万円（前連結会計年度末504億92百万円）となり、1億16百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が41億90百万円増加した一方で、たな卸資産が30億91百万円、その他（未収入金など）が8億90百万円減少したことによります。

また、固定資産の残高は664億83百万円（前連結会計年度末590億68百万円）となり、74億14百万円増加いたしました。これは主に土地が43億10百万円、建物及び構築物（純額）が23億47百万円、投資有価証券が8億50百万円増加したことによります。

この結果、総資産残高は1,170億91百万円（前連結会計年度末1,095億60百万円）となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、209億18百万円（前連結会計年度末194億59百万円）となり、14億58百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が9億99百万円、その他（未払金など）が7億51百万円増加した一方で、賞与引当金が5億25百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は57億32百万円（前連結会計年度末56億80百万円）となり、52百万円増加いたしました。

この結果、負債残高は266億50百万円（前連結会計年度末251億39百万円）となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、904億41百万円（前連結会計年度末844億20百万円）となり、60億20百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益81億11百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が2億42百万円増加した一方で、配当金を23億99百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、2020年5月8日に公表いたしました数値から変更しております。詳細は、2021年1月28日に公表いたしました「業績予想の上方修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,199 | 8,202 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,518 | 12,709 |
| たな卸資産 | 26,497 | 23,406 |
| その他 | 7,406 | 6,516 |
| 貸倒引当金 | △130 | △226 |
| 流動資産合計 | 50,492 | 50,608 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 41,422 | 44,709 |
| 減価償却累計額 | △22,466 | △23,404 |
| 建物及び構築物（純額） | 18,956 | 21,304 |
| 土地 | 19,997 | 24,308 |
| その他 | 8,769 | 9,146 |
| 減価償却累計額 | △5,652 | △5,979 |
| その他（純額） | 3,116 | 3,166 |
| 有形固定資産合計 | 42,070 | 48,779 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 255 | 372 |
| その他 | 475 | 469 |
| 無形固定資産合計 | 730 | 841 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,316 | 3,166 |
| 敷金 | 9,177 | 9,150 |
| その他 | 5,076 | 4,827 |
| 貸倒引当金 | △302 | △282 |
| 投資その他の資産合計 | 16,267 | 16,862 |
| 固定資産合計 | 59,068 | 66,483 |
| 資産合計 | 109,560 | 117,091 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,375 | 10,375 |
| 未払法人税等 | 1,931 | 2,220 |
| 賞与引当金 | 1,173 | 648 |
| ポイント引当金 | 648 | 591 |
| その他 | 6,330 | 7,082 |
| 流動負債合計 | 19,459 | 20,918 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 154 | 159 |
| リース債務 | 258 | 181 |
| 資産除去債務 | 2,969 | 3,031 |
| その他 | 2,296 | 2,359 |
| 固定負債合計 | 5,680 | 5,732 |
| 負債合計 | 25,139 | 26,650 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,072 | 15,072 |
| 資本剰余金 | 10,401 | 10,416 |
| 利益剰余金 | 62,718 | 68,430 |
| 自己株式 | △2,248 | △2,238 |
| 株主資本合計 | 85,944 | 91,681 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 252 | 494 |
| 土地再評価差額金 | △1,907 | △1,907 |
| 為替換算調整勘定 | 21 | 20 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △55 | △39 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,688 | △1,431 |
| 新株予約権 | 160 | 185 |
| 非支配株主持分 | 4 | 5 |
| 純資産合計 | 84,420 | 90,441 |
| 負債純資産合計 | 109,560 | 117,091 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 112,361 | 115,211 |
| 売上原価 | 68,052 | 69,222 |
| 売上総利益 | 44,309 | 45,989 |
| 販売費及び一般管理費 | 34,640 | 34,866 |
| 営業利益 | 9,669 | 11,123 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 50 | 36 |
| 受取手数料 | 184 | 195 |
| 持分法による投資利益 | 103 | 114 |
| その他 | 474 | 532 |
| 営業外収益合計 | 813 | 878 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9 | 9 |
| その他 | 26 | 20 |
| 営業外費用合計 | 35 | 29 |
| 経常利益 | 10,447 | 11,971 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 1 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 0 |
| 固定資産除却損 | 22 | 14 |
| 投資有価証券売却損 | 3 | — |
| 特別損失合計 | 26 | 14 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,422 | 11,959 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,284 | 3,709 |
| 法人税等調整額 | 6 | 137 |
| 法人税等合計 | 3,290 | 3,846 |
| 四半期純利益 | 7,131 | 8,112 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,130 | 8,111 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 7,131 | 8,112 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 64 | 241 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | △0 |
| 退職給付に係る調整額 | 13 | 13 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △14 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 63 | 257 |
| 四半期包括利益 | 7,195 | 8,369 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,194 | 8,368 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ事業における影響につきましては、上期末までには事業環境も通常の状態に戻るという仮定の下、緊急事態宣言が発出された上期を中心に、来店客数の減少による売上高の減少を想定しておりましたが、感染対策としてクルマ、バイクでの移動需要が高まったことなどもあり、当初予想より前倒しで当社グループ事業に対する需要が回復いたしました。

今後も当社グループ事業に対する新型コロナウイルスの影響は軽微であると仮定し、固定資産の減損、貸倒引当金、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|------------------------|---------|---------|-----|---------|
| | カー用品・ 二輪用品等 販売事業 | 賃貸不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 107,669 | 4,691 | 112,361 | — | 112,361 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 107,669 | 4,691 | 112,361 | — | 112,361 |
| セグメント利益 | 8,797 | 871 | 9,669 | — | 9,669 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|-----------------------|------------------------|---------|---------|-----|---------|
| | カー用品・ 二輪用品等 販売事業 | 賃貸不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 110,412 | 4,798 | 115,211 | — | 115,211 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 110,412 | 4,798 | 115,211 | — | 115,211 |
| セグメント利益 | 10,128 | 994 | 11,123 | — | 11,123 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。